地域防災力に関する調査

○調査時期：平成１９年１２月
○対象者　：滋賀県内の自治会長を対象
○回答数　：２４６５自治会/３２３５自治会（平成２０年３月１日時点）

Ⅰ 地 域 の 状 況 に つ い て

問１あなたの自治会への加入世帯数を記入願います。

(略)

問 2　次の行事のうち、あなたの自治会で実施されている行事について住民の参加状況はどの程度ですか。(実施されている行事に○をつけ、参加状況にも○を付けてください)

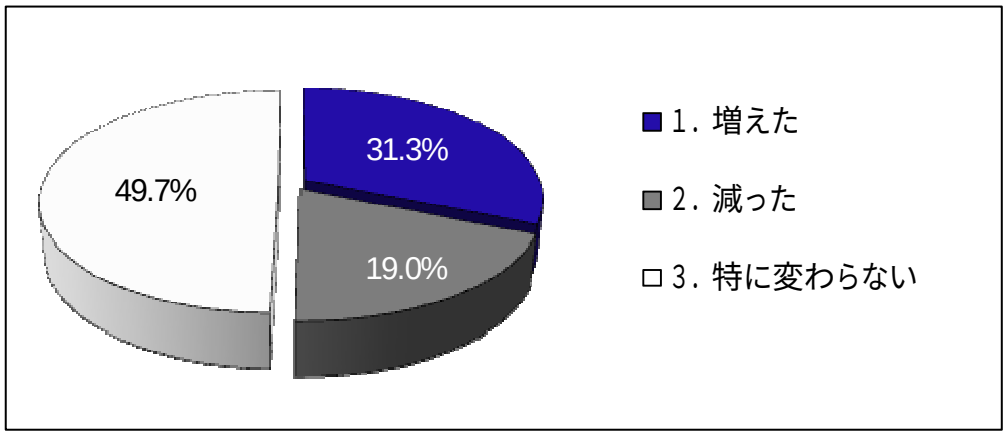
各行事とも７割以上の自治会で実施されている。また、どの行事についても６割前後の自治会で半数以上の住民が参加している。

項目	半数以上	半数以下	ほとんど役員だけ	回答数
1. お祭り	1331	593	145	2073
2. レクリエーション	967	751	81	1803
3. 清掃等のボランティア活動	1892	311	151	2358
4. お盆や正月の行事	1093	499	179	1774
5. 運動会	1107	668	123	1902

問 3　あなたの自治会では、昔（10年程度前）と比べて地域で実施される行事は増えましたか。それとも減りましたか。ひとつ◯をしてください。

１０年前と比較して、地域で実施される行事は「変化がない」と回答した自治会が最も多く49.7%、次いで「増えた」自治会が31.3%である。

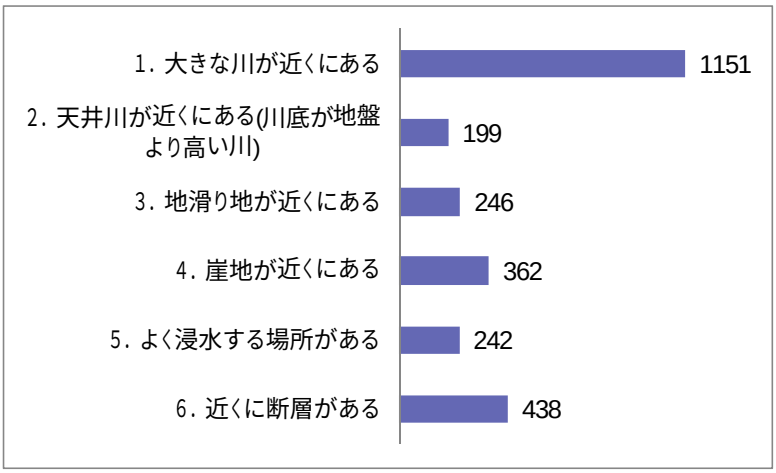
項　目	人数	割合
1. 増えた	752	31.3%
2. 減った	455	19.0%
3. 特に変わらない	1192	49.7%
回答なし	66	
回答数	2399	



問４　あなたの自治会のある地域の身近な地形についてあてはまるものすべてに○をしてください。

大きな川が近くにあると回答した自治会が全体の約５割(46.7%)である。

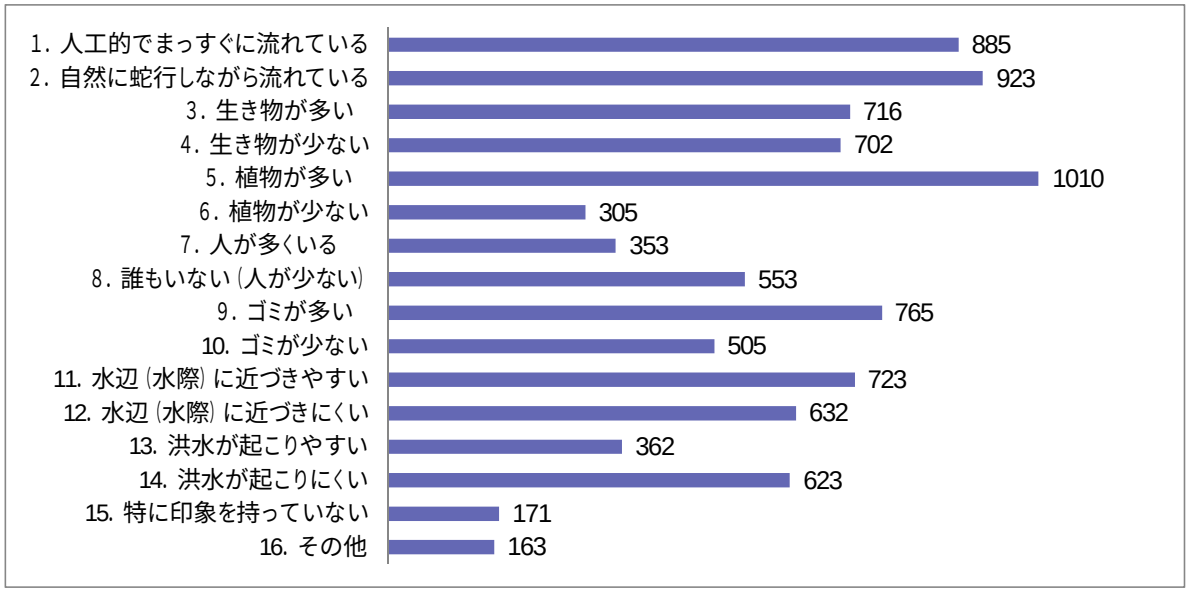
項　　目	人数
1．大きな川が近くにある	1151
2．天井川が近くにある(川底が地盤より高い川)	199
3．地滑り地が近くにある	246
4．崖地(ガケチ)が近くにある	362
5．よく浸水する場所がある	242
6．近くに断層がある	438
回答なし	681



問５　あなたの自治会のある地域の身近な川について、あてはまるものすべてに○をしてください。

「植物が多い」と回答した自治会が最も多く自治会数の 41.0%である。川の形状については、「人工的でまっすぐ流れている」（36.9%）と「自然に蛇行しながら流れている」（37.4%）が僅差となっている。

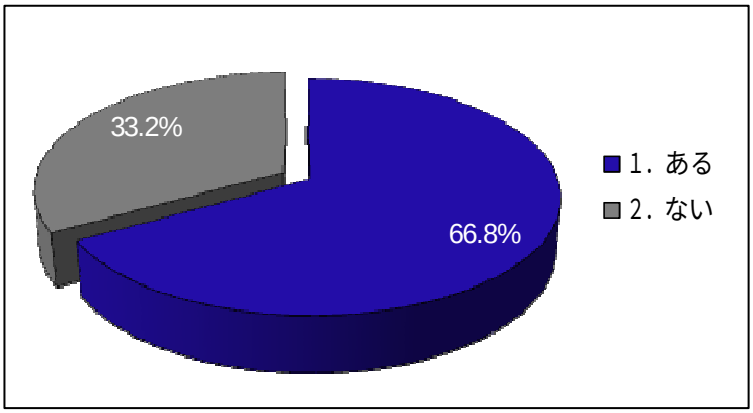
項　　目	人数
1. 人工的でまっすぐに流れている	885
2. 自然に蛇行しながら流れている	923
3. 生き物が多い	716
4. 生き物が少ない	702
5. 植物が多い	1010
6. 植物が少ない	305
7. 人が多くいる	353
8. 誰もいない（人が少ない）	553
9. ゴミが多い	765
10. ゴミが少ない	505
11. 水辺（水際）に近づきやすい	723
12. 水辺（水際）に近づきにくい	632
13. 洪水が起こりやすい	362
14. 洪水が起こりにくい	623
15. 特に印象を持っていない	171
16. その他	163



問 6　あなたの自治会には住民による自主的な防災活動が組織的に行われることを目的とした自主的な組織（以下「自主防災組織」）がありますか。ひとつ○をしてください。

自主防災組織の組織率は 66.8%である。

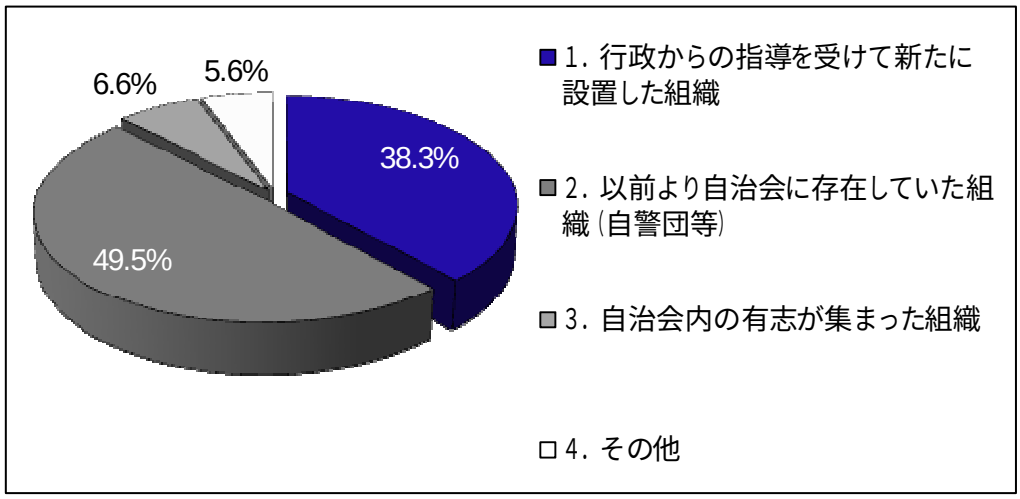
項　目	人数	割合
1．ある	1625	66.8%
2．ない	809	33.2%
回答なし	27	
回答数	2434	



問 7　問 6 の質問に「1．ある」と答えた方に伺います。
自主防災組織とはどのような組織ですか。ひとつ○をしてください。

約半数の自治会の自主防災組織が「以前より自治会に存在していた組織」である。
また、「行政からの指導を受けて新たに設置した組織」が 38.3%ある。

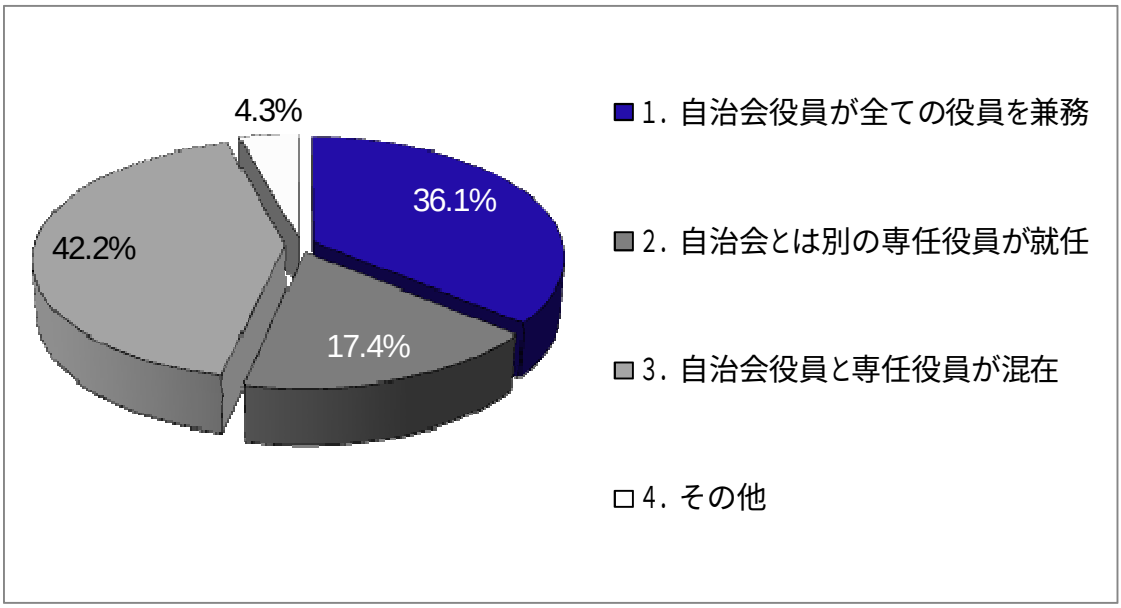
項　目	人数	割合
1．行政からの指導を受けて新たに設置した組織	610	38.3%
2．以前より自治会に存在していた組織（自警団等）	789	49.5%
3．自治会内の有志が集まった組織	105	6.6%
4．その他	89	5.6%
回答なし	872	
回答数	1593	



問８　問６の質問に「1．ある」と答えた方に伺います。
自主防災組織の役員はどのような方ですか。ひとつ◯をしてください。

「自治会役員とは別に自主防災組織専任の役員が就任」している組織は全体の 17.4%である。

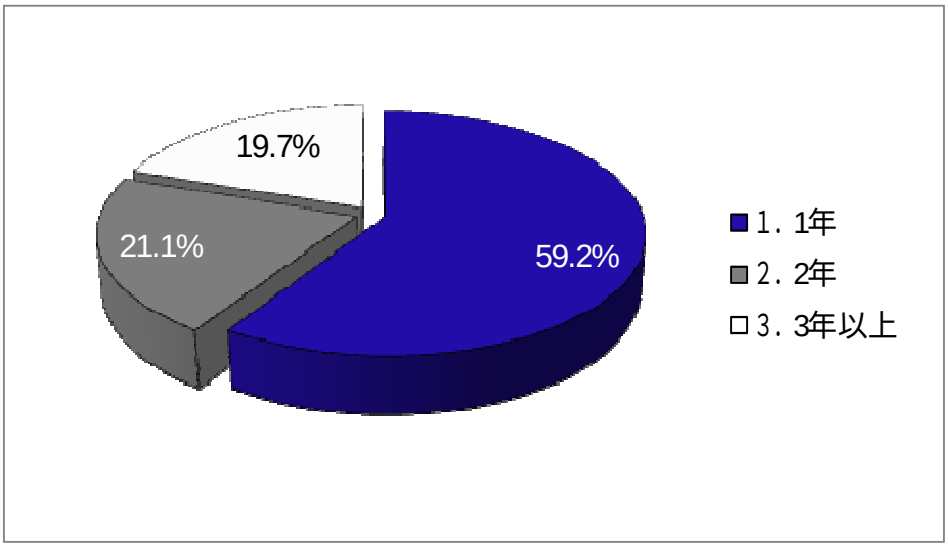
項　　目	人数	割合
1．自治会役員が全ての役員を兼務	579	36.1%
2．自治会とは別の専任役員が就任	280	17.4%
3．自治会役員と専任役員が混在	678	42.2%
4．その他	69	4.3%
回答なし		
回答数	1606	



問９　問６の質問に「1．ある」と答えた方に伺います。
自主防災組織の役員の任期は何年ですか。ひとつ◯をしてください。

自主防災組織の役員の任期が「１年」の自治会が 59.2%である。

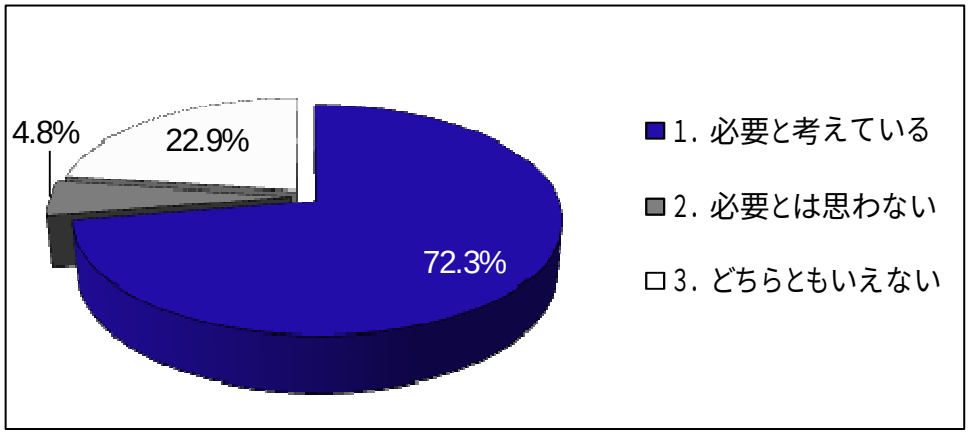
項　　目	人数	割合
1．1 年	933	59.2%
2．2 年	332	21.1%
3．3 年以上	311	19.7%
回答なし	889	
回答数	1576	



問 10　問 6 の質問に「2．ない」と答えた方に伺います。
今後、地域に自主防災組織は必要と考えますか。ひとつ◯をしてください。

自主防災組織が組織されていない自治会の 72.3%が「自主防災組織は必要」と回答している。

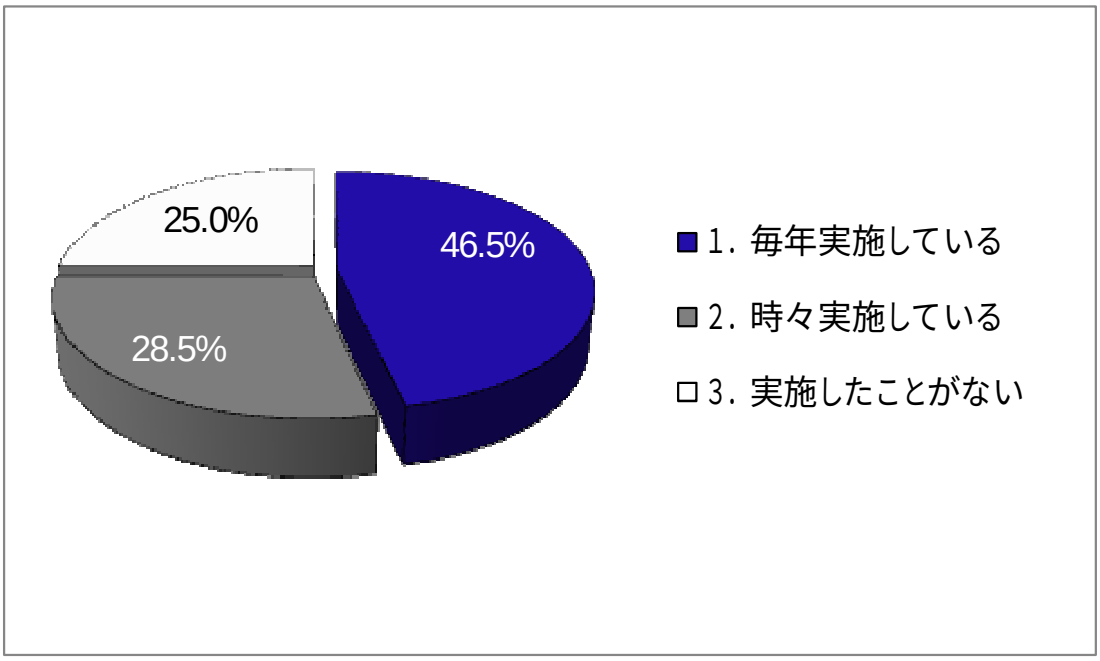
項　　目	人数	割合
1．必要と考えている	626	72.3%
2．必要とは思わない	42	4.8%
3．どちらともいえない	198	22.9%
回答なし	1599	
回答数	866	



問 11　あなたの自治会では防災訓練を実施したことはありますか。ひとつ◯をしてください。

46.5%の自治会において、防災訓練を「毎年実施している」と回答している。

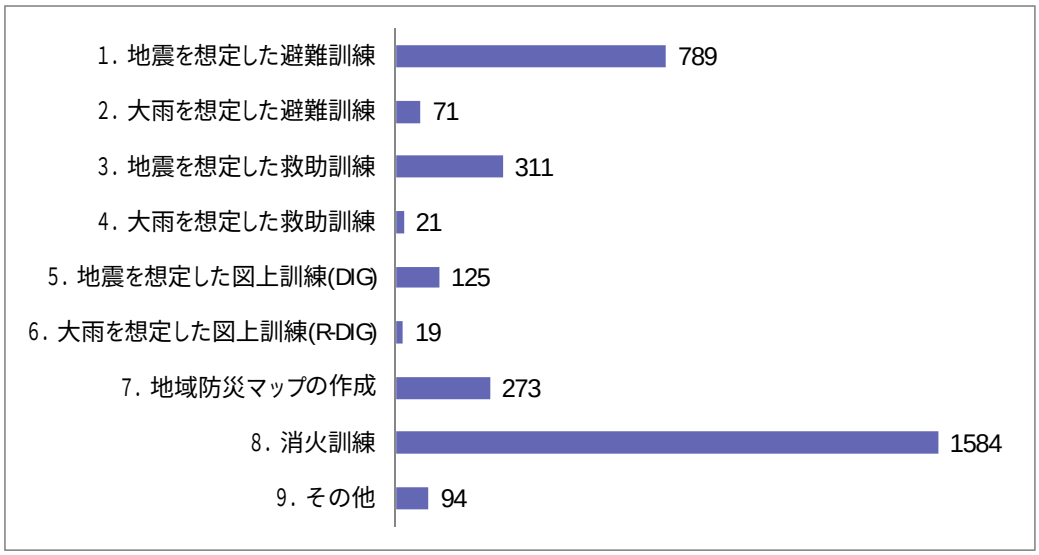
項　　目	人数	割合
1. 毎年実施している	1125	46.5%
2. 時々実施している	690	28.5%
3. 実施したことがない	604	25.0%
回答なし	46	
回答数	2419	



問 12　問 11 の質問に「1．毎年実施、2．時々実施」と答えた方に伺います。
訓練の内容はどのようなものですか。いくつでも○をしてください。

防災訓練を実施している自治会の 87.1%が「消火訓練」を実施していると回答しており、続いて「地震を想定した避難訓練」を実施している自治会が 43.4%であった。

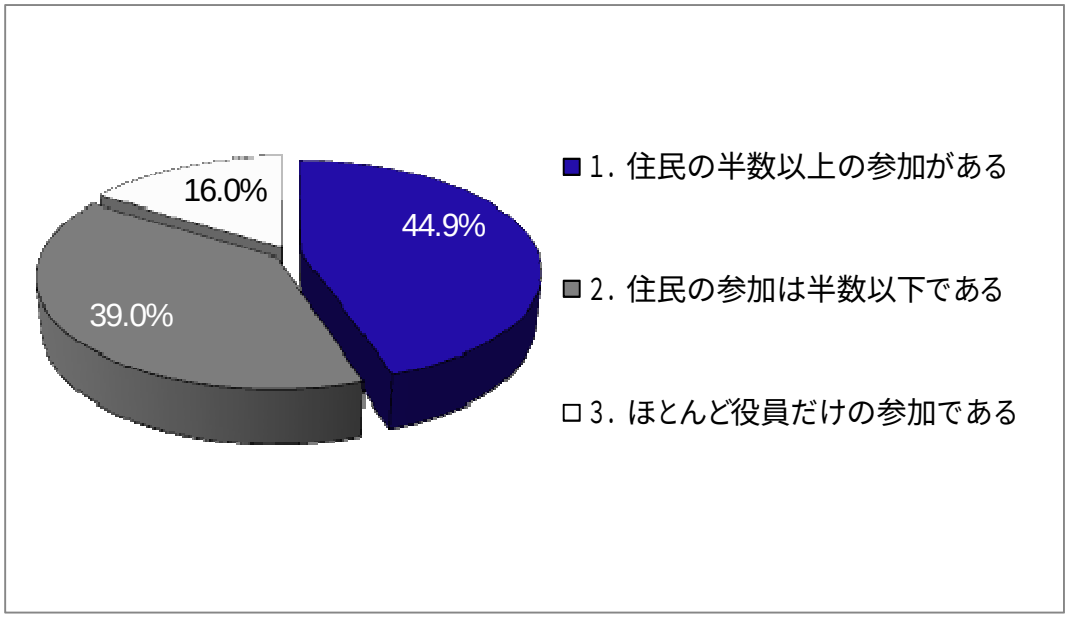
項　　目	人数
1．地震を想定した避難訓練	789
2．大雨を想定した避難訓練	71
3．地震を想定した救助訓練	311
4．大雨を想定した救助訓練	21
5．地震を想定した図上訓練(DIG)	125
6．大雨を想定した図上訓練(R-DIG)	19
7．地域防災マップの作成	273
8．消火訓練	1584
9．その他	94
回答なし	0



問 13　問 11 の質問に「1．毎年実施、2．時々実施」と答えた方に伺います。
訓練には、どれくらい住民の参加がありますか。ひとつ◯をしてください。

防災訓練に「住民の半数以上が出席している」自治会の（本設問の回答数に対する）割合は 44.9%である。

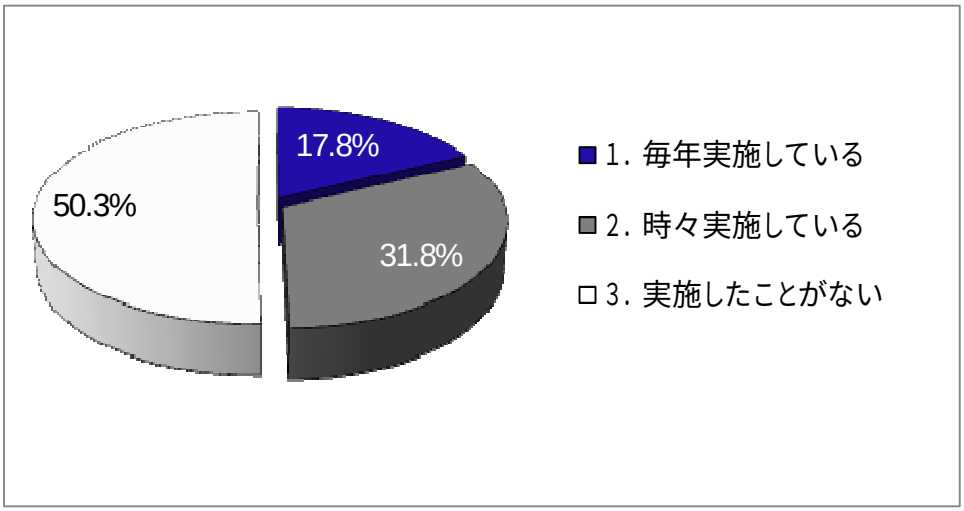
項　　目	人数	割合
1．住民の半数以上の参加がある	810	44.9%
2．住民の参加は半数以下である	704	39.0%
3．ほとんど役員だけの参加である	289	16.0%
回答なし	12	
回答数	1803	



問 14　あなたの自治会では防災に関する研修会や学習会など実施したことはありますか。ひとつ◯をしてください。

防災に関する研修会や学習会を「毎年実施している」自治会が約半数（50.3%）である。

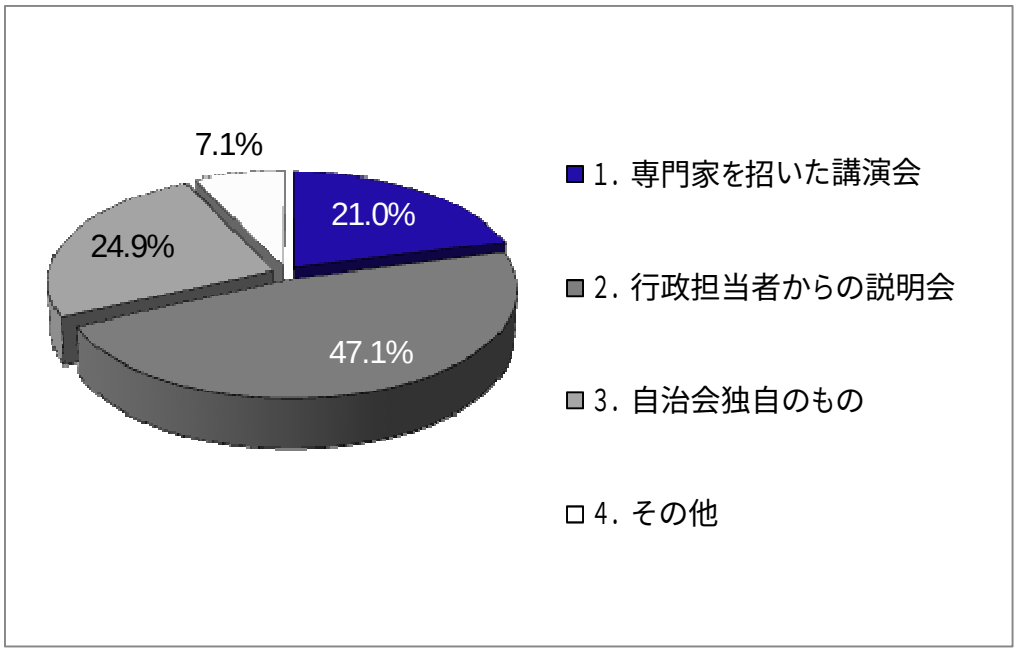
項　　目	人数	割合
1. 毎年実施している	429	17.8%
2. 時々実施している	766	31.8%
3. 実施したことがない	1211	50.3%
回答なし	59	
回答数	2406	



問 15　問 14 の質問に「1．毎年実施、2．時々実施」と答えた方に伺います。
研修の内容はどのようなものですか。ひとつ◯をしてください。

防災に関する研修会・学習会の内容は、「行政担当者からの説明会」が最も多く、約半数（47.1%）となっている。

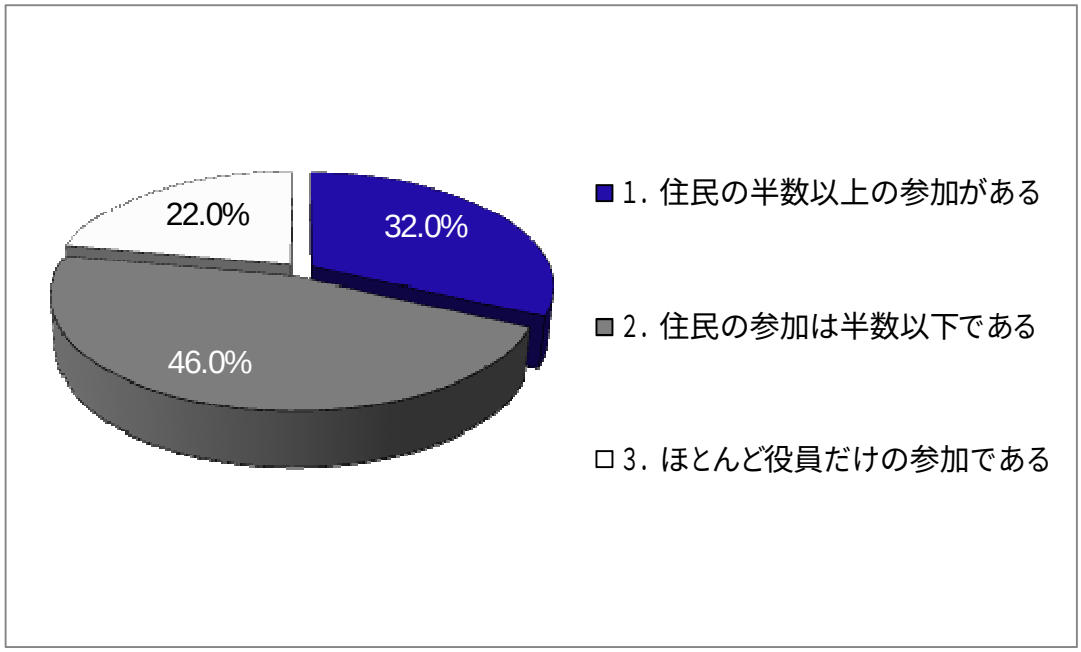
項　　目	人数	割合
1．専門家を招いた講演会	240	21.0%
2．行政担当者からの説明会	539	47.1%
3．自治会独自のもの	285	24.9%
4．その他	81	7.1%
回答なし	50	
回答数	1145	



問 16　問 14 の質問に「1．毎年実施、2．時々実施」と答えた方に伺います。
研修には、どれくらいの参加がありますか。ひとつ◯をしてください。

防災に関する研修会・学習会を実施している自治会のうち、「住民の半数以上の参加がある」自治会は 32.0%である。

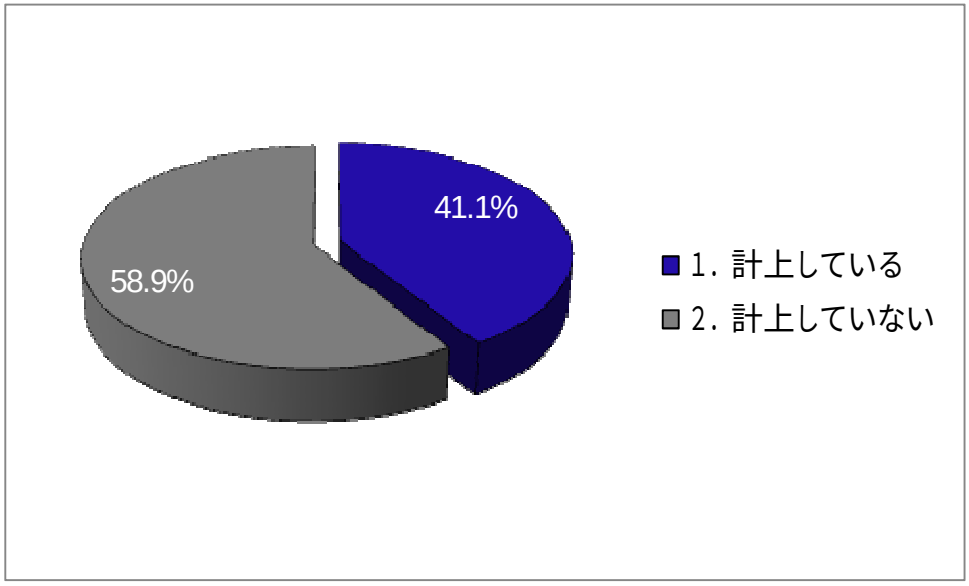
項　　目	人数	割合
1．住民の半数以上の参加がある	380	32.0%
2．住民の参加は半数以下である	547	46.0%
3．ほとんど役員だけの参加である	261	22.0%
回答なし	7	
回答数	1188	



問 17　あなたの自治会では防災活動（訓練等）を行うため、予算を計上していますか。ひとつ○をしてください。

防災活動を行うために予算を「計上している」自治会は 41.1%である。

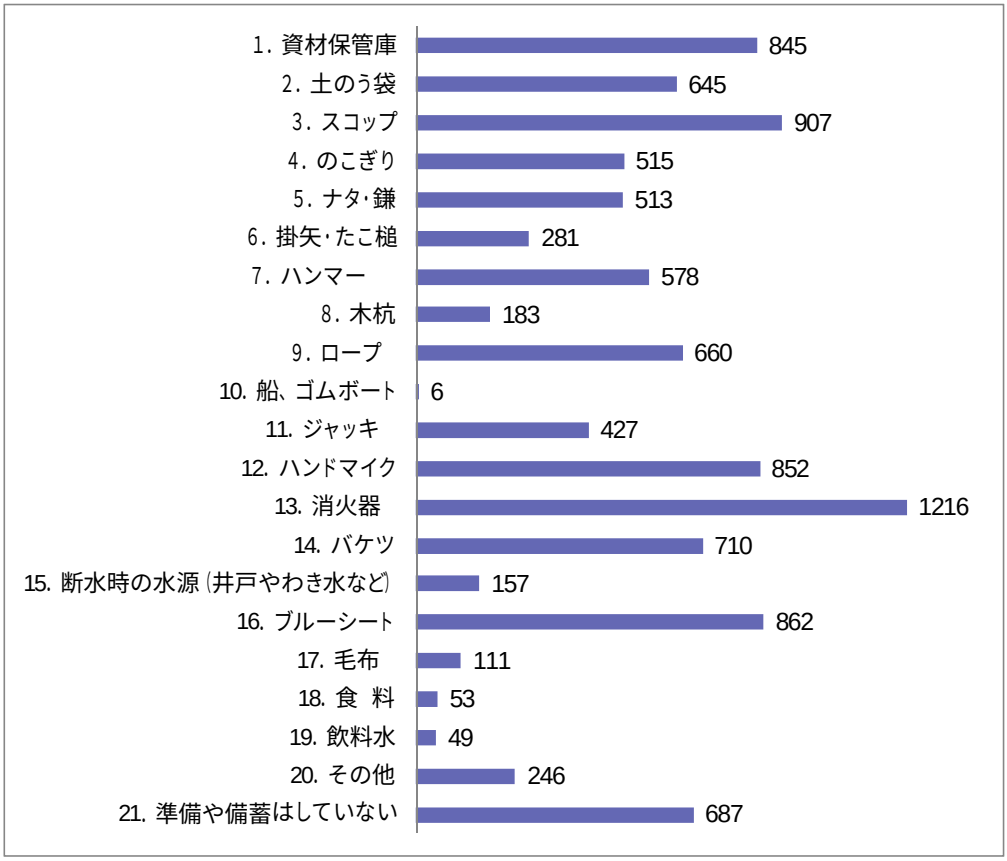
項　　目	人数	割合
1. 計上している	646	41.1%
2. 計上していない	927	58.9%
回答数	1573	



問 18　あなたの自治会では防災用の資機材の整備や、非常時のための備蓄をされていますか。整備、備蓄されているものにすべて◯をしてください。

整備、備蓄されているもので最も多いのは「消火器」で、49.3%の自治会が持っている。次いで、「スコップ」「ブルーシート」「資材保管庫」の順で多い。

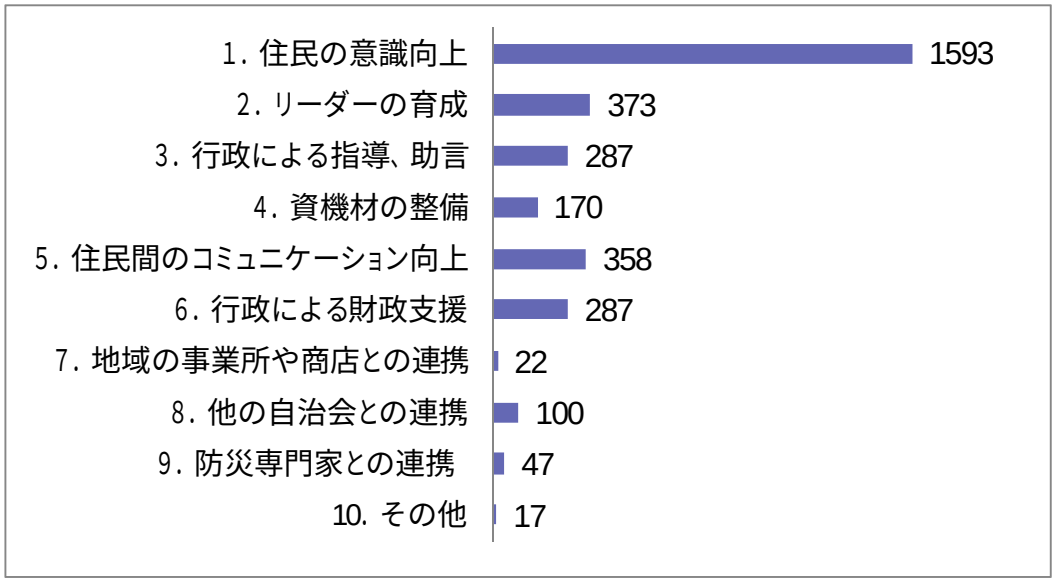
項　　目	人数
1. 資材保管庫	845
2. 土のう袋	645
3. スコップ	907
4. のこぎり	515
5. ナタ･鎌	513
6. 掛矢･たこ槌	281
7. ハンマー	578
8. 木杭	183
9. ロープ	660
10. 船、ゴムボート	6
11. ジャッキ	427
12. ハンドマイク	852
13. 消火器	1216
14. バケツ	710
15. 断水時の水源（井戸やわき水など）	157
16. ブルーシート	862
17. 毛布	111
18. 食　料	53
19. 飲料水	49
20. その他	246
21. 準備や備蓄はしていない	687
回答なし	161



問19　あなたの自治会の防災力を高めるためには、何が一番必要だと考えますか。ひとつ◯をしてください。

64.6%の自治会で「住民意識の向上」が一番必要であると回答している。

項　　目	人数
1. 住民の意識向上	1593
2. リーダーの育成	373
3. 行政による指導、助言	287
4. 資機材の整備	170
5. 住民間のコミュニケーション向上	358
6. 行政による財政支援	287
7. 地域の事業所や商店との連携	22
8. 他の自治会との連携	100
9. 防災専門家との連携	47
10. その他	17
回答なし	43



問 20　あなたの自治会の防災力を高めるためには、何が一番課題であると考えますか（自由回答）。

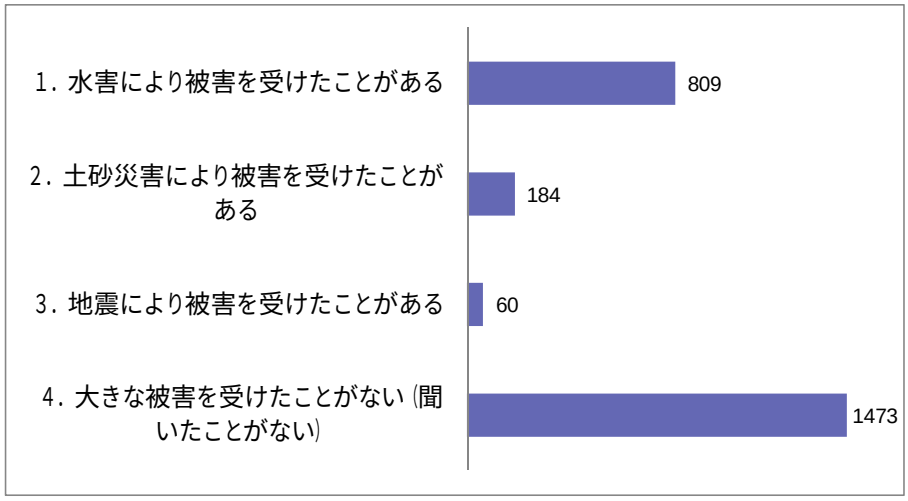
1	○普段からの災害に対する関心と防災意識が必要である。 ○停電時にも放送が可能な、災害時に断線の発生しない無線放送で連絡できる事。
2	災難等にもし起きた時に一人では何もできない、いかに住民たちの協力があるか。
3	集落住民の協力
4	防災に対する意識が薄い。
5	高月町全域で一斉に実施をし、多くの住民が参加をしてもらい、まず意識向上を図る。
6	災害に対する各人の防災意識のアップ。
7	災害の怖さの住民の認識とその為の啓蒙活動
8	住民の方の意識向上と訓練及財政支援
9	住民の意識向上と行政の財政支援
10	防災訓練に住民の半数以上の参加があるよう、防災に対する住民の意識向上
11	体制の充実が必要と考えている。会社関係の協力を求めることも必要。
12	防災意識を確立し、区民に認識してもらう
13	資機材の整備に対する行政による財政支援
14	地震を想定して避難、救助訓練が、出来ておらず課題だと考える。
15	資機材の整備に必要な格納庫
16	日中は成人男が勤めの為、人がいなく老人、女性であり、災害発生時の初動防災対応が出来ない。 又老人、女性でも出来る設備、機材が無い。
17	住民の意識向上を高める事
18	問１９①
19	町民が万一に備え研修を行うこと
20	大地震、大風水害に耐えることの出来る一時的避難所の設置と避難訓練。
21	１．携帯電話が通じない。付近にアンテナがぜひ必要（非常の連絡が出来ない） ２．行政による緊急連絡の方法をぜひ考えてほしい（電話が通じない時）
22	住民の意識向上
23	大北自治会は現在火災訓練のみ実施しており、今後の住民の意識向上をはかるために講習会等が必要です。
24	防災活動（訓練等）を定期的に行い、防災用、資機材を整備すること。
25	火災が無い様にすること！
26	住民の家族構成がわからない。行政による意識の向上。リーダーの育成。

Ⅱ 被 災 履 歴 に つ い て

問 21 あなたの自治会のある地域は、過去に自然災害により被害を受けたことがありますか。いくつでも○をしてください。

59.8%の自治会が、過去に自然災害による「大きな被害を受けたことがない」と回答している。

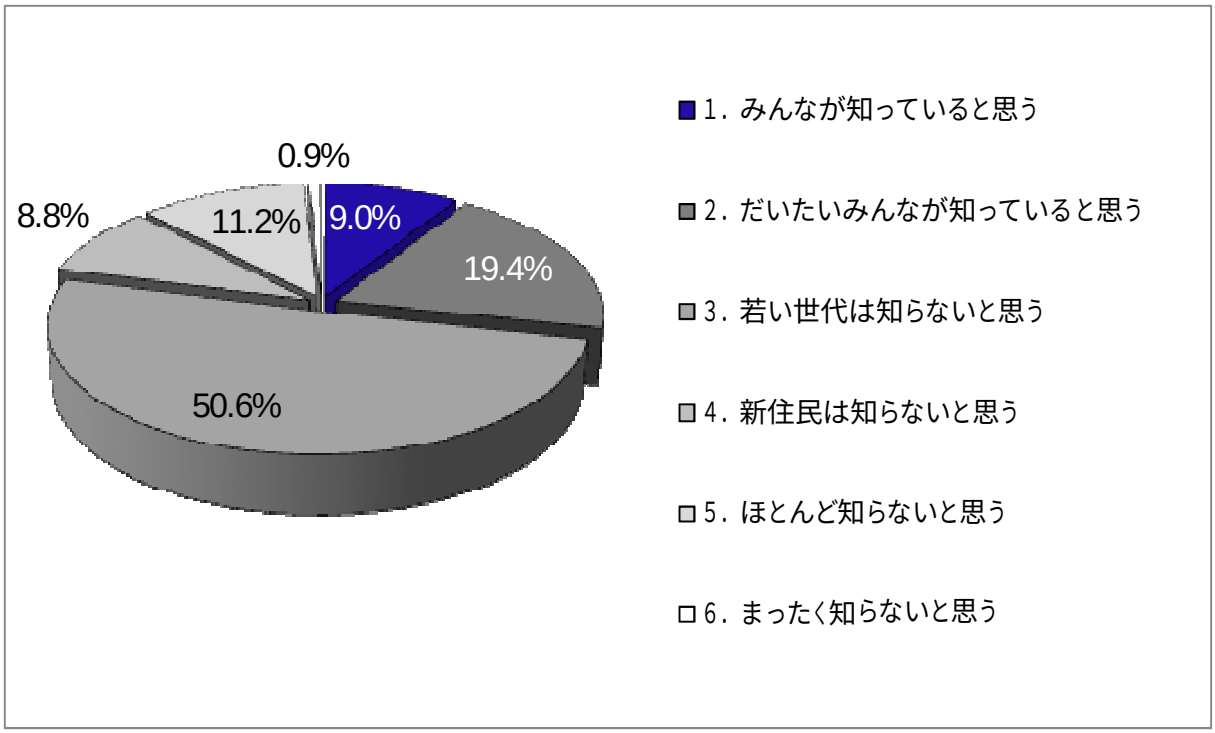
項　　目	人数
1. 水害により被害を受けたことがある	809
2. 土砂災害により被害を受けたことがある	184
3. 地震により被害を受けたことがある	60
4. 大きな被害を受けたことがない（聞いたことがない）	1473
回答なし	95



問 22　問 21 で被災を受けたことのある地域の方にお伺いします。
地域の皆さんはこうした過去の被災について知っていると思いますか。ひとつ◯をしてください。

回答のうち、59.4%が過去の被災について「若い世代」や「新住民」は知らないと思うと回答している。

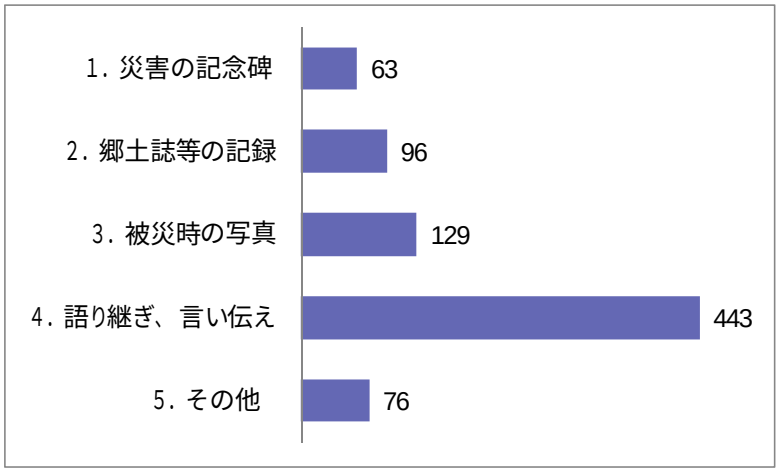
項　　目	人数	割合
1．みんなが知っていると思う	79	9.0%
2．だいたいみんなが知っていると思う	170	19.4%
3．若い世代は知らないと思う	443	50.6%
4．新住民は知らないと思う	77	8.8%
5．ほとんど知らないと思う	98	11.2%
6．まったく知らないと思う	8	0.9%
回答なし	22	
回答数	875	



問 23　あなたの自治会のある地域の被災の記録や伝承がされているものをご記入ください。あてはまるものすべてに、○をしてください。

７割以上の自治会が本設問に対しての回答がなかった。また最も多かった伝承方法としては「語り継ぎ、言い伝え」で、回答者の 67.1%であった。

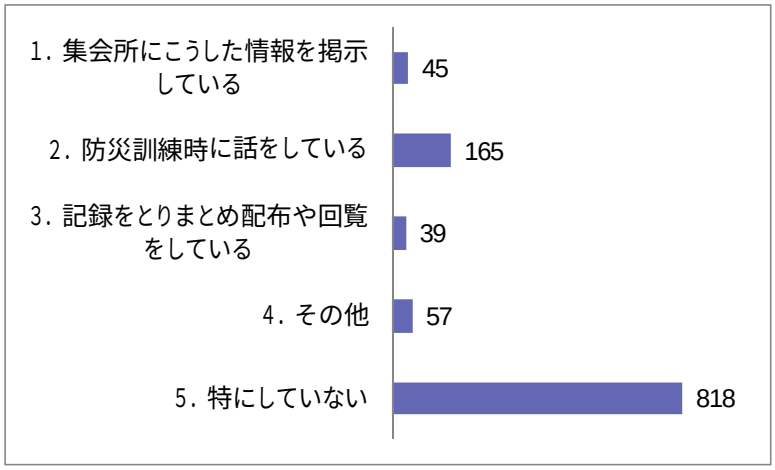
項　　目	人数
1．災害の記念碑	63
2．郷土誌等の記録	96
3．被災時の写真	129
4．語り継ぎ、 言い伝え	443
5．その他	76
回答なし	1795



問 24　地域の被災記録や伝承について、地域のみなさんが情報を共有できる工夫はされていますか。いくつでも○をしてください。

回答のあった自治会の約８割では、地域の被災記録や伝承について情報を共有できる工夫を「特にしていない」という回答だった。

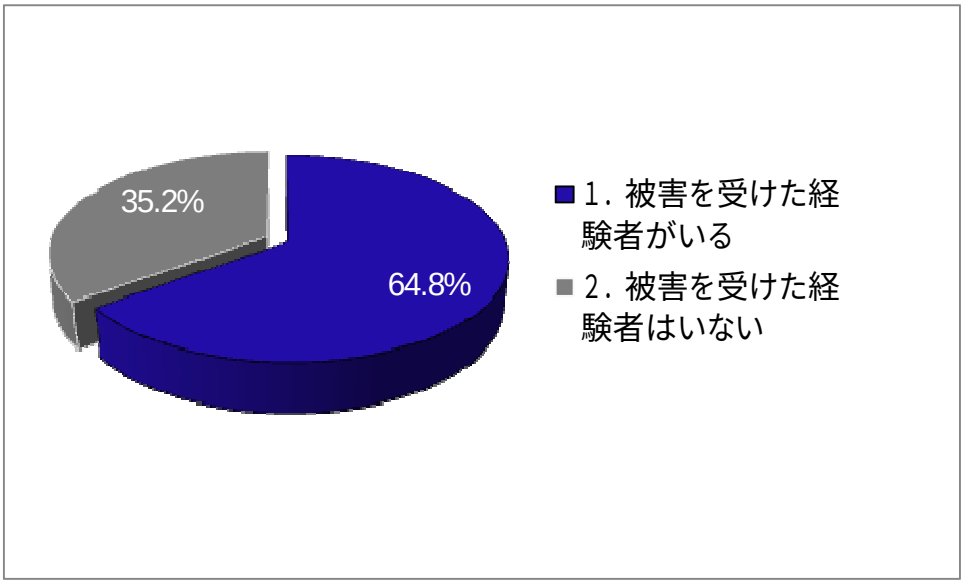
項　　目	人数
1．集会所にこうした情報を掲示している	45
2．防災訓練時に話をしている	165
3．記録をとりまとめ配布や回覧をしている	39
4．その他	57
5．特にしていない	818
回答なし	1380



問 25　あなたの自治会の地域での被災体験･履歴について記入をお願いします。

	年	月	名称	災害時の様子	災害時に困ったこと	災害後に困ったこと
1	2006	6		大雨による		
2			伊勢湾台風	神社の来は何本か倒れた。家も何件か傾いた	避難場所がその年末にはなかった。	
3	45 年ほど前			赤川の水があふれ、一部の路や宅地が浸水した。		
4			江戸時代の水害（西野水道貫通）	生前で細部は不明		
5	明治以前		大雨	土砂くずれ（2 ヶ所）		
6	?		伊勢湾台風	家屋の浸水 30cm 位、ヨシ及袋が飛散した。	前もって分かっていたので特になし	住宅の補修
7			ジェーン台風、伊勢湾台風			
8	大正 10	6		高時川が欠陥し、集落内が浸水した。食事の運搬は、舟を使ってしたと聞く。		
9			伊勢湾台風	雨が多く、高時川の推移が上昇し橋まで来て馬上区南郷排水口より郷内に進入、水田の半分が水につかった。		
10				４０年ぐらい前の台風での水害（床下浸水が有った）		河川改修後現在発生していない
11			台風１９号	床下浸水、川の氾濫	道路が川になり、水圧で避難できなかった	後始末
12	昭和 45	7 頃		川の水があふれ川べりの農機倉庫が流され、橋につまり、水が川の両脇にあふれて流れた。山すその土砂くずれが起こった。昔、人が流されて死んだことがある。	家のまわりが洪水で家からの出口が亡くなった家があった。	村の入口で道路がえぐられ車の通行が不能になった。田畑に土砂が流れ込んで回復が大変だった。
13	昭和 34	9	伊勢湾台風	①市道が全面くずれ落ちた②矢倉川の土手が決壊した。	①通学できなかった	②田んぼに土砂が大量に入った
14				伊勢湾台風の１年前後に矢倉川土手修理完了後また同じ所が決壊した。		
15			伊勢湾台風	犬上川堤防が決壊し床下浸水した		数日後浸水が引かず、水びたしの生活だった

問 26　あなたの自治会には、被害を経験された方がおられますか。ひとつ◯をしてください。

本設問に回答のあった 64.8%の自治会において「被害を受けた経験者がいる」と回答している。

項　　目	人数	割合
1. 被害を受けた経験者がいる	653	64.8%
2. 被害を受けた経験者はいない	354	35.2%
回答数	1007